

知られざる発掘の世界へようこそ。

細心の注意で掘り下げる

発掘調査の目的は「地中に埋もれた歴史の資料を掘り出すこと」にあるといえますが、調査にあたってはいくつかのポイントがあります。

発掘調査の基本は土を削って地中に残る遺構（住居跡などの構造物の痕跡）や遺物（土器や石器）を確認・記録することです。

調査用のジョレンや手ガマなどの道具を用いて少しずつ削りながら掘り下げ、削った面に新たな遺構や遺物がいないか確認していきま

台石（写真中央の○印）
周辺には黒曜石で打ち
欠いた際にできた剥片
や破片が数多く出土。



す。一か所を深く掘り下げずに、一定の範囲を均一に下げるといふ作業を繰り返しながら掘り下げます。上図で白く立っているのは遺物収納用のポリ袋です。髪の毛ほどの破片も入っています。これは、確認された遺構や遺物の出土状況・位置・層位・深さなどの情報を、写真や図面に記録した後に取り上げるためです。

元位置から失われてしまいう遺構や遺物の情報を、「記録」という形で未来に引き継いでいきます。

発掘ってどうやるの？ 発掘調査のすすめかた

1【表土剥ぎ】

表土（現代の土）を重機などで除去し、遺構や遺物が確認される深さまで掘削する。



2【遺構確認】

調査用ジョレンなどの道具で土の表面を削り、遺構や遺物がないか確認する。



3【遺構精査】

遺構確認で検出した遺構や遺物の範囲を移植ゴテや手ガマで慎重に掘り下げる。出土した遺物は元位置に残して調査を進める。

4【遺構・遺物の記録化】

掘りあがった状態で、写真撮影、平面位置・土層堆積状況などの図面化を行う。出土遺物がある場合は、記録化の後取り上げて、整理作業室へ搬入。

【埋め戻し】

すべての発掘調査が終了した後、掘り上げた土を重機などで埋め戻す。

5【室内整理作業】

出土した遺物の接合・復元作業、発掘現場での記録を整理し、発掘調査の成果を調査報告書にまとめる。



注意深く「観察する」

旧石器時代の発掘調査の場合、石器などの遺物は出土しますが、住居跡のような掘り込みのある遺構は確認できません。そのため、石器の集中具合から遺構の広がりや予測し調査を進めていきます。

また、旧石器時代の石器が含まれる関東ローム層（いわゆる赤土）は、時期によって色が異なります。（写真4）。平面的に削りながら、このわずかな土の色の变化（層の変わり目）を見逃さず掘り進めていかなければなりません。

整理作業では、主に遺物の整理に時間が費やされます。

- ・搬入した遺物を水洗いし、出土した位置情報を書き入れる。
- ・土器であれば文様や割れ口などの特徴から欠けた破片同士を接合して元の形に復元する。
- ・石器の場合、石核や剥片類を接合することで、元の原石の大きさや石器作りの手順を推定する手がかりとする。

いずれにしても、非常に細かい破片まで注意深く観察しなければならず、時間と根気のいる作業です。

（写真5）

町の歴史を掘り起こす 遺跡発掘調査

発掘調査を続けてきた理由、今までの調査で印象に残っていること…
発掘調査協力員として活躍している人たちに聞きました。

発掘調査協力員



のがみ よしき
野上 吉樹さん

広報の調査員募集記事がきっかけで調査員に。25年、発掘調査に携わる。

太古のロマン に駆られて

発掘調査協力員を続けるうちに、太古の口はかけ離れていて、難マンが感じられる発掘調査に次第にのめり込んでいきました。

獣を捕えるための落とし穴を調査したことや、今までの思い出に残っています。

うと、普段の生活からはかけ離れていて、難しいと感じられる人も多いかもしれません。色々な機会に、たくさんの人、特に子どもたちと遺跡の面白さを知ってもらいたいと思っています。

遺跡発掘調査 協力員募集

発掘調査に従事する調査協力員を随時募集しています。
詳細は文化財保護課までお問い合わせください。

発掘調査協力員



まゆずみ ゆこ
黛 佳代子さん

26年ほど発掘調査員を続けている。

正確に証拠を 残すように 調査する

発掘調査は体力勝負な面と繊細な作業を要される面があります。中東遺跡のように旧石器時代の遺跡は地下深くに調査面があり、はしごで何往復も上り下りしながら地面を這いつくばって調査します。

小さな剥片や破片も、大切な資料で、土を削り取る手ガマにあたってはかすかな音や目視などで確認します。発掘調査では「正確に証拠を残すこと」を心がけています。藤久保東遺跡で局部磨製石斧を傷つけずに発掘できたことが印象に残っています。

「拓く」をテーマとした 武蔵野台地開拓の歴史を展示。 歴史民俗資料館

約3万年前の旧石器時代から近代まで、三芳の歴史と文化をたどることができる。

住所
三芳町大字竹間沢 877

開館時間
9時～16時30分※入館は16時まで。



発掘調査によって、遙か昔の先人の生活の営みを知り、当時の人々の行動を復元していくこと。

遺跡や発掘は日常からかけ離れた別世界の話ではなく、先人の生活の痕跡を未来につなぐことです。